

建設系で課題残る

混廃除く90%以上が再資



全国屈指の処理能力を誇る「泉州プラント」

「諦めない心こそが（堺市、伊山権一社長、国内屈指の日量152自身と企業の成長に繋がる）」を経営理念に、138年。長年にわたり50年以上にわたり産業汚泥の処理を専門的に廃棄物の収集運搬から取り扱いつつ、燃え殻、中間処理などを手掛ける関西クリアセンターを重なる。処理能力は、

全国屈指の処理能力で顧客ニーズに対応

関西クリアセンター

最新技術を積極的に取り組む

「ル物、魚網などの処理困難物にも対応可能だ。また、積み上げ高さ3.5m、最大保管が48.2立方メートルの容量を持つ、2立方メートルの容量を持つ、積替え保管の許可も取得している。プラント内は、日量101.8立方メートルの処理能力を持つ一軸破砕機と、同155.5立方メートルの処理能力を持つ二軸破砕機、ガラス、ベア・破砕物保管ヤード消火設備を設置。異物破砕に伴う万一の火災に備えても万全を期している。さらに、新たな防火設備を増設する計画を立て、徹底した対策を講じている。その他、今年5月から、蛍光管の処分も開始した。受け入れを始める他、AI配車やチャットGPTなどを活用。全国屈指の処理能力を誇る施設ととも、最先端のITやICTAI、などの技術の導入を積極的に取り組んでいる。これらの技術を生かしながら、産業廃棄物処理という枠を越え、製造・加工業としての観点での事業を展開していきたい」と語った。

徹底した品質管理と分析で実績増

夢クリン

コンテナ引き取りアプリも開発

30年以上にわたり産業廃棄物の収集運搬をはじめ、廃石膏ボードなど建設廃棄物の処理を手掛ける夢クリン（兵庫県姫路市、079-3365-0000、同橋本社長）は、徹底した品質管理と分析で実績を増やしている。同社は、徹底した分別と品質管理で、解体系石膏ボードについてもボードごと小口を手掛けるなど、再生原料へのリサイクルで実績を重ねる。ここ数年、高度経済成長期に建設された建築物が老朽化を迎え、増・解体工事が急増。建設系廃棄物や石膏ボード、がれき



日量80tの処理能力を持つ破砕設備

「夢クリン」を開発している」と語った。同社は、AI配車やチャットGPTなどを活用。全国屈指の処理能力を誇る施設ととも、最先端のITやICTAI、などの技術の導入を積極的に取り組んでいる。これらの技術を生かしながら、産業廃棄物処理という枠を越え、製造・加工業としての観点での事業を展開していきたい」と語った。

富産物や近畿地方連綿協議会が公表する建設副産物実態調査（近畿地方版）をもとに、近畿エリアでの建設廃棄物の発生から再資源化動向、廃棄物の発生抑制の取り組み、業界の動向をまとめた。

図1 産業廃棄物の種類別排出量

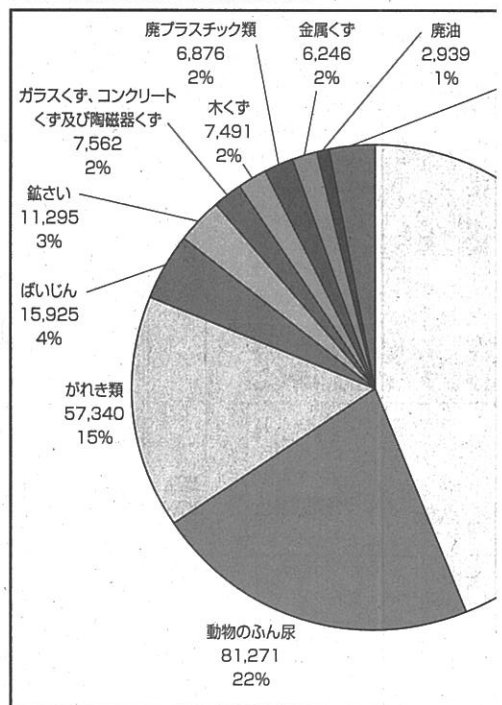
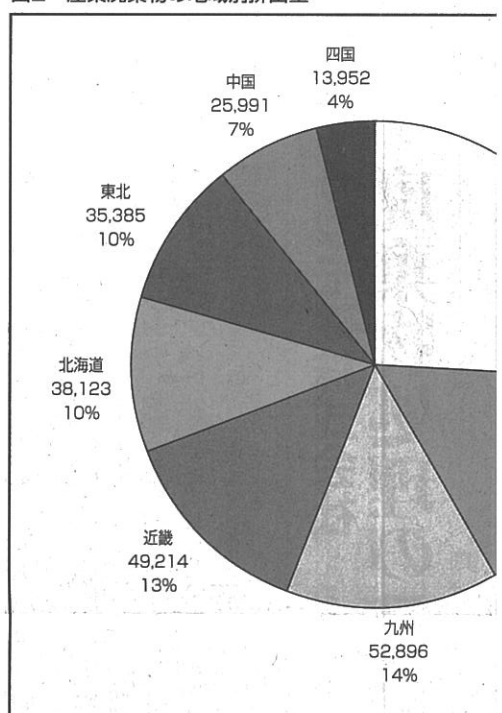


図2 産業廃棄物の地域別排出量



建設系で課題残る。建築物の維持管理・更新費用は、18年度比で10年後には1.2倍、30年後には1.3倍に増えると予測されている。近年、各地で大規模な自然災害が発生している。今年も台風7号が近畿に上陸し、大規模な被害を被った。現は、万一の事態に対応できない」と語った。

「唯一無二」の存在となることに努めます!

株式会社ヤマモト

建設廃材/産業廃棄物は
KCC京都グリアセンターへ

ヤマモトでできること、ヤマモトにしかできないこと
ヤマモトホールディングス www.yamamoto-hd.jp

YAMAMOTO

商号 株式会社 山本清掃

産業廃棄物中間処理施設(選別・破砕・減容固化)
M.R.C 株式会社 エム・アール・シー
〒601-8143 京都市南区上鳥羽麻ノ本町23-2
TEL075-672-1000 FAX075-681-0110